

## H27年度前期研究報告会の開催

去る9月25日(金)南部総合福祉センター1階ホールにて平成27年度前期研究報告会を開催し、平成27年4月に入所した第42期教育研究員5名が下記の研究テーマで研究報告を行いました。

今回も、会場に検証授業等で作成した教材やワークシート、検証保育の教具等を展示しました。

南部広域行政組合教育委員会と連携・協力に関する協定書の締結を行った、琉球大学からは、濱田栄作准教授と5名の学生さん、沖縄女子短期大学は、濱比嘉宗隆センター長と小林祐一講師と3名の学生の皆さんが参加してくださいました。今回の報告会へは58名の皆さんの参加がありました。

## 研究テーマ一覧

	発表者	研究領域及び研究テーマ
1	金城さくら 糸満市立糸満南幼稚園	〈幼稚園教育〉 幼児が友達と共に遊ぶ楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 ～触れ合い、かかわる集団遊びを通して～
2	大城厚 糸満市立真壁小学校	〈小学校 算数〉 図形領域における基礎的・基本的な知識及び技能の 定着を図る指導方法の工夫 ～操作、比較・観察の学習活動を通して～
3	長門照乃 糸満市立潮平小学校	〈小学校 道徳〉 多様な考えに触れ、思考を深める道徳授業づくり ～授業のねらいに迫る発問の工夫～
4	具志堅智美 南城市立大里南小学校	〈小学校 体育〉 運動に親しむ資質や能力を育む学習指導の工夫 ～運動の基礎技能づくりを取り入れた 「ゴール型ゲーム」の授業を通して～
5	古屋誠一 南風原町立南星中学校	〈中学校 数学〉 生徒が主体的に学習する態度を育てる指導の工夫 ～生徒の「問い」を活かした問題解決の授業を通して～



写真1 報告会の様子



写真2 報告の一場面



写真3 会場の展示物

## 参加者の感想 (アンケートから)

- 幼・小・中と様々な分野で指導している先生方ですが、報告内容を聞いて、教師自身がきちんとゴールを明確に示して指導していることが伝わりました。目標を達成するための具体的な手立てがわかりやすく、他の先生方にもすぐに現場で活用できる内容でした。(幼稚園教諭)
- プレゼンが分りやすくまとめられ、動画・写真・実演等があり、研究員の話し方がはっきりして、わかりやすかったです。持ち帰りの貴重な資料がいただけるとても有り難いです。(小学校教諭)
- 半年間の研究成果がうかがえる報告会でした。研究員の努力もさることながら、研究を支えてきたスタッフを含め、一体感を感じることができました。(中学校教諭)
- 学生目線で沢山のことを学ぶことができました。教育現場に出て、活用していきたいです。(大学生)

## 研究員の感想 (研修日誌から)

午前中にプレゼンを1度発表を通して練習したことで少し落ち着いたのですが、本番直前は緊張がピークに達して何度も深呼吸をしていました。そして発表の時を迎えましたが、始めの方は手も震えていて緊張していましたが、次第に落ち着いて発表することができました。他の研究員も皆落ち着いて、それぞれの持ち味を十分発揮した発表になっていたと思います。全員が終わったところで本当にほっとしました。(金城さくら)

とても充実した報告会でした。この半年間で学んだことを意識しながら自分なりのペースで発表することができて、達成感がありました。これから、現場へ還元できるように取り組みたいと思います。(大城厚)

今日は、いよいよ成果報告発表会の日です。きっと緊張するだろうと思ったのですが、これまでの練習の成果なのか、落ち着いて発表に臨むことができました。指導講師の上地先生や上江田校長先生のお顔を見ながら発表すると、しだいに落ち着きを取り戻すことができました。研究発表が終わって上地先生から「よくまとめたね。良い発表だったよ」という言葉や上江田校長先生から「素晴らしい内容だったよ」という賞賛の言葉を頂けて大変嬉しかったです。(長門照乃)

今日の午前中の最終確認では緊張しつつも頑張ってお話することができました。午後の報告会では、運動会準備で忙しい中、大里南小学校の比嘉良雄校長先生に参加して頂き感謝しています。大勢の人の中でしっかりと話すことができましたが、原稿を見る回数が多かった様な気がします。発表後の質問タイムでは、島尻教育事務所の平良指導主事から質問があった時はドキドキしましたが、昨年の10年研から研究内容について理解して頂いているので、昨年からの研究に繋がる質問で安心しました。報告会終了後にも褒めて頂いたので、うれしかったです。(具志堅智美)

午前中は、修了式確認・報告会確認をしていくなかで、緊張感が高まってきました。修了式の挨拶文をしっかりと覚えておらず、不安が残りました。

午後の報告会では、自分の伝えなかったことを話せたので満足しています。報告会には、元同僚や南星中学校の教務主任が見に来てくれて良かったし、琉球大学の学生には「問い」を出してもらい、楽しく報告することができました

報告会が終わりでしたが、これからがスタートだと思います。自分だけの研究で終わらせないように、学校現場でどのように還元していけるかを考えていきたいです。(古屋誠一)